



日本共産党
北茨城市委員会
磯原町豊田1030-2

毎週 日曜日 発行
市議会ニュース

ご相談は
お気軽に
市議会議員
福田 明
43-0468
市議会議員
鈴木やす子
42-2462

高齢者の足の確保策

市がタクシー乗車に助成

北茨城市では、お年寄りの生活の足の確保策として、タクシーの運賃助成を始めます。運転免許を持たない65歳以上の方、約7千人が対象で、7月1日から利用可能です。

これまで市では循環バスを運行していますが、さらなる手だてを検討してきました。特にお年寄りの運転免許の返納を薦めているこ

ともあり、タクシーの初乗り運賃分を助成することになったものです。1回の乗車に、700円分のチケット1枚が使えます。それが毎月4枚ずつ支給されます。現在、市役所ロビーで申請を受け付けています。これまでに対象の約2割弱の申請数となっています。

市役所ロビー
で受付・発行

日本共産党市議団は「直



女性連盟

(6/21、市民ふれあいセンター)

北茨城市女性連盟の総会。郷土を知ろうパートとして「空襲の被害者であり、加害者であった大津」と題し、鳥居俊夫氏による講演がありました。

今年の夏、プールが利用できます

北茨城市内では昨年、震災と放射能汚染によって、学校プールが使えず、海水浴もできませんでした。考えてみれば、子ども時代の夏というのは何回もありません。その貴重な一夏を原発が台無しにしたともいえるのではないのでしょうか。

今年、市内の小中学校のプールが開放され、水泳



の授業も始まっています。教育委員会によれば、6月に水質検査をおこない、全校で放射性物質は不検出でした。

市民プール、B&G海洋センタープールも、震災被害の復旧工事が済み、利用できるものになっていきます。

市内の公園の除染も一区切り

市の都市計画課では、管理している83箇所の公園のうち、0・23μシーベルト

以上の放射線量が測定された4ヶ所の除染を終了しました。

高萩市議会でも「東海第二原発廃炉」採択

高萩市議会の6月議会において「東海第二原発の廃炉を求める陳情」が賛成多数で採択されました。原子力産業が立地している茨城県北部では、北茨城

このほかに20ヶ所が予定されていますが、その後放射線量の低下が認められ、除染作業はおこなわれていません。現在は、推移を見守り、部分的な除染も検討していくとしています。

原発ゼロ、核廃絶

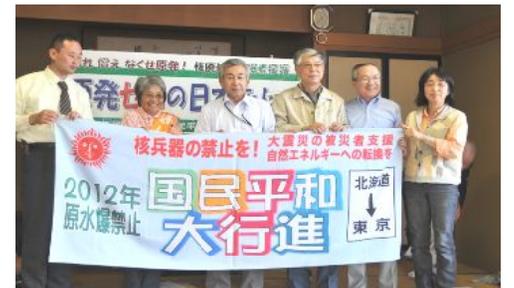
ねがいをつなぐ平和行進



平潟公民館に到着した福島からの行進団



福島・茨城の宣伝カーが並ぶ



左から2人目、北海道から通し行進の米山幸子さん

全国からヒロシマ・ナガサキをめざして毎年歩き続けられてきた「原水爆禁止国民平和大行進」。北海道↓東京のコースは、今年も5月に北海道を出発し、東北を縦断して、茨城に引き継がれました。6月28日、平潟公民館で開かれた引き

続きには両県から30人を超える参加がありました。昨年は断念したフクシマでの行進ですが、今年には放射能汚染地域を迂回しつつ、歩みをつないできました。いわき市の代表によれば、駅前5ヶ所で署名活動をおこなうのが恒例ですが、今年には市民の関心が高く、500筆を超える署名数は新記録だとのこと。でも、そのなかには、仮設などに避難している高校生が住所を書けないでいる場面もあったそうです。

今回、北茨城原水協では「原発ゼロの日本、東海第二原発の廃炉」を掲げた独自の横断幕を準備して、茨城県内をつないでいきます。